

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2002-513348(P2002-513348A)

【公表日】平成14年5月8日(2002.5.8)

【出願番号】特願平10-528001

【国際特許分類第7版】

B 6 0 N 2/44

B 6 0 R 21/01

B 6 0 R 21/32

B 6 0 R 22/10

B 6 0 R 22/46

【F I】

B 6 0 N 2/44

B 6 0 R 21/01

B 6 0 R 21/32

B 6 0 R 22/10

B 6 0 R 22/46

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月17日(2004.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成16年12月17日



特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成10年特許願第528001号

## 2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ミシガン州48331 ファーミントン ヒルズ、

スイート B-12 ハガーティー ロード 27200

名称 オートモーティブ システムズ ラボラトリイ インコーポレーテッド

## 3. 代理人

住所 東京都新宿区富久町8番21号 T&amp;Tビル

電話 (5366) 9961

A284 氏名 弁理士 (10284) 葛和 清司



## 4. 補正対象書類名 請求の範囲

## 5. 補正対象項目名 請求の範囲

## 6. 補正の内容

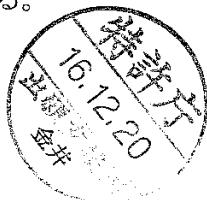
I. 請求の範囲 別紙のとおり

審査



## II. 明細書

- 1) 明細書、5頁下から8行の「領域」の記載を削除する。
- 2) 同、8頁下から3行の「液体いずれか」の記載を「液体（ゲルを含む）いずれか」と訂正する。
- 3) 同、9頁1行の「基底部17」の記載を「基底部」と訂正する。
- 4) 同、同9頁1行の「頂部19」の記載を「頂部」と訂正する。
- 5) 同、同9頁8行の「転送されるに」の記載を「転送される」と訂正する。
- 6) 同、11頁3行の「加えられた重量」の記載を「加えられた負荷」と訂正する。
- 7) 同、同11頁8行の「602を」の記載を「602により」と訂正する。



- 8) 同、12頁12~13行の「プラッダは」の記載を「プラッダ12は」と訂正する。
- 9) 同、同12頁14行の「絶対圧力は」の記載を「絶対圧力は、プラッダ12の頂部表面を支持するのに必要なごくわずかの量以上は」と訂正する。
- 10) 同、同12頁15行の「支持するのい」の記載を「支持するのに」と訂正する。
- 11) 同、同12頁16行の「要領は増加する。」の記載を「要領は減少する。」と訂正する。
- 12) 同、同12頁下から5行の「下記のように」の記載を「下記分析的換算において」と訂正する。
- 13) 同、13頁5行の
- $$\left[ P_{fill} = \frac{n \cdot R \cdot T_{fill}}{V_{fill}} \right] \quad (4)$$
- の記載を
- $$\left[ P_{fill} = \frac{n \cdot R \cdot T_{fill}}{V_{fill}} \right] \quad (4)$$
- と訂正する。
- 14) 同、同13頁11行の「表されてもい。」の記載を「表されてもよい。」と訂正する。
- 15) 同、14頁下から3行の「厚さ」の記載を「厚さ(すなわち高さ)」と訂正する。

以上

別紙

請求の範囲

1. 車両座席の乗員の重量を測定しつつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステムであって、
  - a. 座席のクッションの真下に取付けられ、かつ座席の基底部により支持されたプラッダであって、可撓性材料により構成された、前記プラッダと；
  - b. プラッダに含まれた流体と；
  - c. プラッダ内の流体の圧力に応答して信号を発生するプラッダに作動可能な結合された圧力センサと；
  - d. 重量測定値に応答する安全拘束システムを制御する制御信号を発生する信号から乗員の重量を測定する信号プロセッサー；

とを有する、前記システム。
2. 周辺で互いに密封可能に接続された被覆布地の複数のシートをさらに有し、  
プラッダが周辺内に膨張可能な閉じ込め装置を形成するようにし、被覆布地のシートが周辺内の1個又はそれ以上の場所で互いにさらに接続されて、互いに流体連通する膨張可能な閉じ込め装置内に複数の流体包含域を生成する、請求の範囲1に記載の車両座席の乗員の重量を測定しつつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。
3. 流体包含域が周辺内に非均一に分散される、請求の範囲2に記載の車両座席の乗員の重量を測定しつつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。
4. 被覆布地のシートが前記周辺内の1個又はそれ以上の閉鎖経路に沿って互いにさらに接続される、請求の範囲3に記載の車両座席の乗員の重量を測定しつつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。
5. プラッダの負荷支持表面に近接する半剛性材料の座席を有する、請求の範囲1に記載の車両座席の乗員の重量を測定しつつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。
6. 流体充填プラッダの少なくとも1つの負荷支持表面の外側に被覆をさらに有する、請求の範囲1に記載の車両座席の乗員の重量を測定しつつそれに応答

する安全拘束システムを制御するシステム。

7. 流体が気体である、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

8. 流体が液体である、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

9. 外部負荷が流体充填プラッダに実質的に加えられない場合、流体充填プラッダの流体の容量が流体充填プラッダの容量より少ない、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

10. 圧力センサが前記流体充填プラッダ内の流体の絶対圧力に応答する、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

11. 圧力センサが局所的な大気圧に対して流体充填プラッダ内の前記流体の差圧に応答する、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

12. 圧力センサがプラッダ表面の歪みに応答する、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

13. 圧力センサがプラッダ内に内部的に統合される、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

14. 圧力センサが流体充填プラッダ表面により流体から隔離される、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

15. 圧力センサに近接して流体充填プラッダの内部に配置されて、流体充填プラッダが圧力センサの近傍で潰れるのを防止する拘束装置をさらに有する、請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

16. 周辺で互いに密封可能に接続された被覆布地の複数のシートをさらに有

し、プラッダが膨張可能な閉じ込め装置を形成するようにし、被覆布地のシートが周辺内の 1 個又はそれ以上の場所で互いにさらに接続されて、互いに流体連通する複数の流体包含域を生成し、さらに；流体充填プラッダの少なくとも 1 つの負荷支持表面の外側に被覆をさらに有し、外部負荷が流体充填プラッダに実質的に加えられない場合、流体充填プラッダの流体の容量が流体充填プラッダの容量より少なく；圧力センサが局所的な大気圧に対して流体充填プラッダ内の流体の差圧に応答し；圧力センサが流体充填プラッダ表面により流体から隔離され；かつ圧力センサに近接して流体充填プラッダの内部に配置されて、流体充填プラッダが圧力センサの近傍で潰れるのを防止する拘束装置をさらに有する；請求の範囲 1 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

17. 流体包含域が周辺内に非均一に分散される、請求の範囲 1 6 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

18. 被覆布地のシートが周辺内の 1 個又はそれ以上の閉鎖経路に沿って互いにさらに接続される、請求の範囲 1 6 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

19. 被覆布地のシートが周辺内の 1 個又はそれ以上の閉鎖経路に沿って互いにさらに接続される、請求の範囲 1 7 に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

20. 流体がシリコーンを基本とする流体である、請求項1に記載の車両座席の乗員の重量を測定しかつそれに応答する安全拘束システムを制御するシステム。

21. 車両座席における重量に応答する安全拘束システムを制御するシステムであつて、

- a. 車両座席における重量に応答する流体内で圧力を発生するための、車両座席に作動可能に取付けられた、流体を含有する手段；
- b. 前記流体の圧力を感知する手段；そして
- c. 前記流体の圧力に応答する、安全拘束システムを制御するための手段、とを含む、前記システム。

22. 流体を含有する手段が、部分的に流体で充填されている、請求項21に記載の車両座席における重量に応答する安全拘束システムを制御するシステム。

23. 重量を流体を含有する手段に分配する手段をさらに含む、請求項21に記載の車両座席における重量に応答する安全拘束システムを制御するシステム。

24. 車両座席における重量に応答する安全拘束システムを制御するシステムであって、

a. 流体の圧力が車両座席における重量に応答する、車両座席に作動可能に取付けられた、流体閉じ込め装置；

b. 流体の圧力に応答する信号を発生するための前記流体閉じ込め装置に、作動可能に取付けられた、圧力センサ；そして

c. 前記信号に応答する安全拘束システムを制御するための前記圧力センサに、作動可能に取付けられた、信号プロセッサー、  
とを含む、前記システム。

25. 流体閉じ込め装置が、部分的に流体で充填されている、請求項24に記載の車両座席における重量に応答する安全拘束システムを制御するシステム。

26. 負荷分配装置をさらに含む、請求項24に記載の車両座席における重量に応答する安全拘束システムを制御するシステムであって、前記負荷分配装置は、流体閉じ込め装置の表面の少なくとも一部に、車両座席における重量を分配する、前記システム。

27. 車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法であって：

a. 車両座席の乗員を支持する負荷径路に直列に流体(hydrostatic)重量センサを間置すること、ここで、前記流体重量センサは、流体およびそれに流体連通する圧力センサを内蔵し、前記圧力センサは、前記流体の圧力に応答する信号を発生し、そして、前記圧力は、車両座席の乗員によって前記流体重量センサに加えられた、乗員重量のコンポーネントに応答する；そして

b. 流体の圧力に応答する信号に反応する安全拘束システムを制御すること、を含む、前記方法。

28. ブラッダ内で互いに流体連通する複数区域内に流体を分配する動作をさ

らに含む、請求項 27 に記載の車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法。

29. ブラッダ内に複数区域を非均一に分配する動作をさらに含む、請求項 28 に記載の車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法。

30. ブラッダ内に少なくとも 1 つの区域を形成する動作をさらに含む、請求項 27 に記載の車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法であって、前記少なくとも 1 つの区域は、圧力センサに流体連通していない、前記方法。

31. 圧力センサがブラッダの外部から流体の圧力を感知する、請求項 27 に記載の車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法。

32. ブラッダが、圧力センサの作動に干渉しないようにする動作をさらに含む、請求項 31 に記載の車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法。

33. 請求項 27 に記載の車両座席の乗員の重量に応答する安全拘束システムを制御する方法であって、前記安全拘束システムがエアーバッグインフレーションシステムを含み、かつ、前記安全拘束システムを制御する動作が、前記エアーバッグインフレーションシステムのインフレーション速度を制御することを含む、前記方法。

34. 流体 (hydrostatic) 乗員重量センサを製造する方法であって、

a. 被覆布地の 1 番目および 2 番目の部分を周辺で互いに固定して、開口部を有する閉じ込め装置を形成すること；

b. 被覆布地の 1 番目および 2 番目の部分を前記周辺内で互いに固定して、互いに流体連通する前記周辺内で複数区域を作り出すこと；

c. 前記閉じ込め装置に圧力センサを作動可能に取付けること；

d. 前記閉じ込め装置の前記開口部を介して、前記閉じ込め装置を流体で少なくとも部分的に充填すること；そして

e. 前記閉じ込め装置の前記開口部を密封すること、  
を含む、前記方法。

35. 複数区域が、複数の形状により特徴づけられる、請求項 34 に記載の流

体乗員重量センサを製造する方法。

3 6. 複数区域が、複数のサイズにより特徴づけられる、請求項 3 4 に記載の流体乗員重量センサを製造する方法。

3 7. 圧力センサが被覆布地により流体から隔離されている、請求項 3 4 に記載の流体乗員重量センサを製造する方法。

3 8. 閉じ込め装置が圧力センサの作動を干渉しないように、閉じ込め装置内に制止装置を取付けるステップをさらに含む、請求項 3 4 に記載の流体乗員重量センサを製造する方法。

3 9. 被覆布地の 1 番目および 2 番目の部分を固定するステップが溶接を含む、請求項 3 4 に記載の流体乗員重量センサを製造する方法。

4 0. 流体がシリコーンを基本とする流体である、請求項 3 4 に記載の流体乗員重量センサを製造する方法。

4 1. 閉じ込め装置が部分的に流体で充填されている、請求項 3 4 に記載の流体乗員重量センサを製造する方法。